

# 第 119 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 27 年 4 月 21 日（火） 13：30～15：20

場 所：浜田公民館第 2 研修室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 横田次長（教育総務課長）佐々木課長 滝本室長（欠席）  
山根課長（代：村木係長）島田館長 長見所長 渡邊課長（代：川本  
係長）小田室長 大崎分室長 田村分室長 森下分室長 吉野分室長  
書記：小林係長 日ノ原主任主事

## 議事

- 1 教育長報告
- 2 議題
  - (1) 公民館職員の選任について
  - (2) 浜田市指定文化財の指定解除について
  - (3) 教育委員会学校訪問について
- 3 部長・次長・課長等報告事項
- 4 その他
  - (1) 各課年間スケジュールについて
  - (2) 浜田市総合振興計画審議会委員の選出について
  - (3) その他

## 1 教育長報告

石本教育長

3 月 19 日以降、今日までの報告である。この期間は、卒業式が終わった後の時期であり、閉校式、開校式、入学式と教育委員の皆様にはお世話になった。ありがとうございます。

① 3 月 21 日（土）国府小学校閉校式

② 3 月 22 日（日）午前：有福小学校閉校式・午後：上府小学校閉校式

これについては、後程資料もあるので担当課より報告があると思う。

③ 3 月 26 日（木）第 4 回・浜田市県立高校のあり方検討会

これは、市長部局総務課が主管となってこの会議を運営しているが、教育委員会も一緒に参加している会議である。4 回の会議で市民の皆様の意見をまとめるということの会議だったが、最終的には新聞の報道等にもあった通り、統合するべきだ

という意見と、県立高校 3 校体制を堅持しながらもっと魅力化について、みんなで汗をかいて検討していくべきだという意見との 2 つに分かれて、今後、検討委員会の会長から市長へ提出をされる予定になっている。これに基づいて市としての考え方を示して県の方へ提案をするということで、5 月の下旬までには提案をしたいという市長の考えである。

④ 3 月 29 日（日）浜田っ子・里帰りコンサート

石央文化ホールで開催された。これは、浜田出身で現在、音楽大学等へ進学された大学 4 年生、大学院の 2 年生等、この 3 月に大学を卒業される方が中心となって、地元に戻って来られ、自分たちが勉強してきた成果を発表するというコンサートだった。自分たちの歌や、ミュージカルに近いオペレーターというのもあり、大変楽しいコンサートであった。2 時間半くらいであったが、あっという間に過ぎた 2 時間半だった。それぞれの分野で浜田出身の方も頑張っておられるが、特に声楽の部門でも頑張っておられる方が多々おられる。この方々の先輩としては、吉田さんであるとか、大野さんであるとか、こういった方々も頑張っておられるので、今後また浜田でこういったコンサートを開いていただき、浜田市の文化の裾野を広げてもらう活動をしていただければと強く思ったところである。

⑤ 3 月 30 日（月）全国重要無形文化財保持団体協議会・浜田大会実行委員会

総会が昨年 10 月に浜田で行われたのだが、その実行委員会の解散式、会議が行われた。浜田であった大会の総括をしたということであるが、この全国重要無形文化財保持団体協議会の会長に浜田市長が平成 27 年度、28 年度の 2 か年就任されており、今後も今年度、来年度は役員会が浜田市内で、総会は色々な地区を回るのだが、今年の総会は沖縄県の久米島で行われる予定。市長が出席され、文化振興課から職員が随行するという様な形になっている。

⑥ 3 月 31 日（火）教育委員会退職者辞令交付式

藤本委員長より挨拶をいただき、感謝状を贈呈した。その後、退職される方を囲んでの昼食会を開催して、少し和やかな会を設けて、皆さん方の長年の勤務に対し慰労を申し上げた。

⑦ 4 月 1 日（水）教育長辞令交付式

私が市長より教育長の辞令をいただいた。

- ⑧ 4月1日(水) 臨時教育委員会  
教育長の職務代理ということで、藤本委員にお願いした。
- ⑨ 4月2日(木) 市立小中学校教職員辞令交付式・管理職着任式・新規採用教職員宣誓式  
67名に辞令交付した。
- ⑩ 4月3日(金) 防犯グッズ〈ホイッスル、ランドセルカバー〉贈呈式  
今年は新しく入学される1年生にも参加してもらった。
- ⑪ 4月4日(土)・11日(土) 第11回梨田昌孝杯浜田市学童軟式野球大会  
4月5日(日)が決勝の予定だったが、雨のため延期し、4月11日に決勝リーグを行った。大田のスポーツ少年団が優勝、2位は浜田の三隅のスポーツ少年団、3位は大田の波根の野球チームという結果だった。
- ⑫ 4月4日(土) 第52回五風研修会〈浜田市長講演：ユネスコ無形文化遺産・石州半紙〉  
例年、行われている。市長が約1時間の講演をされた。好評で、五風会の方が大変喜んでおられた。資料等の元データは教育委員会の文化振興課である程度作ったが、その辺の資料の出来栄も非常に良いという評判だった。あの資料はどこかで配れば良いが。勿体ない。  
講演の内容については、次の5月の五風で活字で出る。全部出るのか。  
いえ、要約されて出る。
- ⑬ 4月6日(月) 国府小学校開校式  
開校式は、来賓招待者として校歌を作詞、作曲をされた先生方、校章を作られた先生、計3名を招待して行った。地元の開校事業実行委員会の皆様方が寄附を集められ、立派な緞帳以下を揃えられ学校へ寄附された。子どもたちが少しでも良い環境の中で教育を受けられる様にとということで取り組みをしていただいており、寄附を集めるのは大変なご時世だが役員の方が頑張って集められた。お世話になった。
- ⑭ 幼稚園、小中学校入学式  
その後、8日以降、幼稚園、小中学校の始業式があった。午後からは2つの中学校では入学式が行われた。9日には小中学校の入学式、10日は4つの幼稚園の入園式が行われた。

渡邊課長(代) 川本係長  
石本教育長  
川本係長  
石本教育長

⑮ 4月12日（日）平成27年度美作浜田会総会・慰霊祭

市長が他公務で出席できなかったので、副市長、教育長、文化振興課長と3人で出席した。美作浜田会の会員の方も年々高齢化を当然しているということで、なかなか若い世代への繋ぎが出来ないという事が大きな課題となっており、その辺の対策をどうすれば良いかと話しておられた。平成31年には、浜田城開府400年を迎えるので、その時には是非、浜田の方に来たいという強い思いを持っておられた。それ以前に、サブイベントがあるので、そういったものにも出席をしたいので、ご案内をいただきたいというお話を聞いて帰った。

⑯ 4月16日（木）三市三町教育長会・総会

三市三町の中で、江津の教育長が今回変わられた。前教育長は副市長になられた。新たに総務部長をされて、今年3月に定年退職をされた小笠原さんという方が教育長に就任されて、会議で挨拶をされた。川本町も、松井前教育長が副町長になられた関係で、新たに谷川教育長が就任された。

県から、今年度の事業についても説明があったが、詳しくは5月に入って、担当者を集めての説明会、校長先生を集めての説明会を予定しているということであった。

明日、県の教育委員会の会議及び教育長の会議があり、教育長と藤本委員にも出席していただくが、教育長の会議の中では今年度の事業計画について各課が説明をするということで、教育長と部長で出席をする。

⑰ 4月17日（金）三市三町教育長会・視察

邑南町にも石見銀山の続きで銀山があったということを知った。発掘調査等を盛んに行っておられ、文化庁も来られて発掘の指導をしておられるが、そういった現場を見せていただいた。石見銀山は、間歩という所を掘って、その中から岩石を採掘していたが、邑南町は露天掘りに近いようなもので、そこで掘ってそのまま窯で焼いて溶かすような手法を取っておられたようだ。明治時代までは同じような方法でやっておられたというお話を聞き、邑南町にも銀山があったのだと新しい発見をした。

## 2 議題

### (1) 公民館職員を選任について（資料 1）

山根課長（代）村木係長

公民館職員（館長）の選任について

この議題は社会教育法第 28 条の規定により下記のとおり公民館職員の任命を求めるものである。前回、3 月 19 日以降に変更の生じたもの及び選任中だった者の後任が決まったという事案である。

- ① 今市公民館長 新崎通治氏 63 歳、今市在住に任命を求めるものである。任期は平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで。この事案については、3 月 19 日では菅野館長が続投するという話であったが、その後、菅野館長は退職されることとなり、新たに新崎さんを館長として任命を求めるものである。
- ② 久佐公民館長 岡田義徳氏 73 歳、久佐在住に任命を求めるものである。任期は平成 27 年 5 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで。3 月 19 日の定例教育委員会時には選任中であった。岡田さんは、合併時、元教育委員。金城町時代の教育長だった。以上、今市公民館館長、久佐公民館館長の任命を求めるといふものでよろしくお願ひしたい。

質疑応答

石本教育長  
村木係長

菅野館長、柳楽館長が退任された理由は。

菅野さんは出雲にも住まいがあり、館長の職が難しくなった。柳楽さんの家はお寺であり、役も色々ある為、そちらに専念するということである。

全会一致により承認

### (2) 浜田市指定文化財の指定解除について（資料 2）

川本係長

浜田市指定文化財の天然記念物である金城の巨樹・銘木という中にある、下久佐のシキミという指定している樹木の解除を提案したい。

シキミについては、平成 26 年 5 月 13 日の強風により、腐朽部分から折れて市道側へ倒木した。撤去及び折れた部分からの除去ということで、木の根元から伐採処置を行わざるを得ない状況となったので、安全確保等を含めて対処した。樹木の再生が出来る状況ではないと確認したので、文化財保護条例の第 10 条第 2 項

に基づき、浜田市文化財審議会へ解除を諮問した。その諮問を受けて、審議会の審議により、やむを得ないということで答申をいただいたという経過を経ている。この様な再生が難しいという状況の中で、解除せざるを得ないという判断の下で本日提案させていただく。

#### 質疑応答

石本教育長

昨年の5月13日の強風で倒木したということで、これは再生が難しいという判断の下で、指定解除について文化財審議会の方にお諮りし、文化財審議会でもやむを得ないので解除が必要であるという答申をいただいているという事である。

藤本委員

何年前か前、三隅の海老谷桜が弱ってきて、樹医さんも絡んで色々と手当をされたと聞いているが、その後どうなったのかということが聞きたい。順調にいつているか。

川本係長

市の指定天然記念物でもある海老谷桜については、5年前の4月1日に倒木をして、市を中心として、地元、専門家の方々と、折れた部分等を除去して移転、再生に向けていく中で、多くの市民の方から寄附をいただきながら対応してきた。3年ほど花が咲くという状況が続いたが、キクイムシの大量発生、猛暑による木の肌、葉が焼けてしまうという状況が続き、枯死する状況が発生した。伐採やむなしという状況までなったが、なんとか根元から側枝という新たな枝が発生して、今年の確認では3mほど再生するという中で、少しずつ花が増えている。再生に向けてすくすくと育っているという状況である。地元との話で、新しい側枝が3mにもなったので、本体の部分をどうしようかという話を地元、教育委員会、専門家とどうしようかと今年度始めているという状況である。順調に再生が進んでいるとご理解いただければと思う。

石本教育長

ヒコバエと側枝の具体的な違いは。

川本係長

ヒコバエは、他の種から受粉して、その近くから生えてくる枝。側枝は、本体の根から伸びた枝ということである。

全会一致により承認

#### (3) 教育委員会学校訪問について (資料3)

小林係長

これは毎年度実施している学校訪問。対象は浜田市内の幼稚園、小学校、中学校を回る予定としている。時期については6月

～7月のところで、1校当たり50分程度ということで、平成25年度から訪問時間を増やしている。訪問者については教育長、教育委員、他事務局からの出席を予定している。訪問内容については、学校の中を回る校内視察、管理職を対象としたヒアリング。その中で意見交換を行っていきたいと考えている。基本的には前年通りの形態で実施を考えているが、今年度新しい提案の意見があれば教えていただきたい。意見交換のところの案の一例の中で、中学校で生徒数が減少する中での部活動のあり方についてなど、意見交換のテーマ等の案があれば教えていただきたい。資料の下段にも過去の意見交換テーマとして載せている。平成24年度は学校運営における現状について、平成25年度は保護者からの意見・要望について、いじめ・問題行動について、不登校について、平成26年度は家庭学習の現状と対応について、いじめ・問題行動の早期発見の手当てについて意見交換を行った。平成27年度の意見交換のテーマの提案等についてご意見等をお願いしたい。

石本教育長

今年度の教育委員会の学校訪問について、概要等の説明があった。実施期間についてだが、6月～7月とあるが、当然、議会が終了してからということ考えて良いか。

小林係長

そうです。

石本教育長

22日以降のところであるか。

小林係長

そうです。

石本教育長

6月22日以降、7月中旬位までの所で考えるということである。

小林係長

従来、毎年この時期に行っているが、終了後の感想で1学期終了後、夏休み明けの学校の様子を見てみたいという意見も以前あったが、2学期は行事が詰まっていて、学校の方の対応も大変だろうと考えたので、従来通り、この時期にやっている。その辺りも踏まえて、実施時期を例年の所で、6月頃になると新学期がスタートしてからの雰囲気も分かるだろうということで、この時期である。

石本教育長

今、時期の問題が事務局の方から意見もあったが、9月という意見もあった様だが、現実問題どうであるか。対応が出来るだろうか。

宇津委員

9月は難しいと思う。学校現場は忙しくて対応できない。

石本教育長

そうすると、提案通り時期は6月の下旬から7月にかけての例年通りでよろしいか。

藤本委員  
石本教育長  
小林係長  
石本教育長  
小林係長  
石本教育長  
宇津委員  
石本教育長  
小林係長  
石本教育長

9月は議会もある。良いのではないだろうか。  
3日間位で回っていたか。  
いえ、5日間くらいかけて回っている。5日プラス予備日をつけている。  
日程については、5月の定例教育委員会までには決められるか。  
事前に、ある程度の日を候補日として示して、都合はどうかという形で調整していこうと思う。  
実施日については、委員の皆さんの都合も伺った上で調整し決定していく。ご回答をお願いしたい。  
意見交換のテーマについて、過去3年間のテーマが資料の方に書いてあるが。  
今日、全国の学力調査を実施している。そういう関係もある。浜田市教育委員会では学力向上推進室を設けて対応をしようとしている。学力向上対策について、具体的な学校の取り組みについてお話をしていただけたらと思う。狭い範囲の学力を考えた時、子どもの学力を付けてやるには、学力を付ける側の力量が問われるのではないか。授業力等をどのように向上しようとしているのかを、学力問題を尋ねてみたい。そういうのはされているか。  
実は学力調査が終わった後、分析をされて各学校で、こういった取り組みをしたいという方針を出された後、教育委員会と意見交換をする場がある。それが今まであったので学校訪問の時に、学力については触れていなかったのかもしれないが、今年は学力向上推進室を設けたこともあるので、学校側の取り組みも含めてだが、学校側が教育委員会にどういったことを期待しているのかということも聞いてみたい所もある。そういったご意見をいただいたので、事務局でも調整をしていけば良い。  
今年度から、新たな取り組みとして、学力調査の自校集計ということがあり、夏休み前までに集計をした分で対策として夏休みの課題を出すということが目的と聞いている。そういった意味で、集計結果、自校集計等、今後の取り組みとリンクした意見交換も出来るのではないかと言う話があった。  
本日、全国学力調査を行っているが、県教育委員会の強い意向で、全ての学校で自校採点を行う。今までは、全国から結果が返ってくるのは8月下旬位だったので、それから対策を練り、実際に対策をするのは秋以降となるとあまりにも遅いという事で、自校採点をして、ある程度の結果が分かった段階で、学校での対応



を検討して、1学期のうちに新たな取り組みをするといったような事を今年はやる事となった。6月末であれば、自校採点も終わっているので、お話しが出来るかもしれない。その辺も意見交換に組みたいと思う。最終的には、5月の定例教育委員会の時でも間に合うか。

小林係長  
石本教育長

間に合う。

また、何かあれば5月の定例教育委員会の時に、ご意見をいただければと思う。意見交換のテーマについて考えていただきたい。

藤本委員

学校訪問の際に、学校の経営方針を別紙で出されるが、学校要覧に載っている。それを説明されると、35分程度という時間の中で意見交換の時間が少なくなると思う。言いつらい部分もあるが、別途資料の用意は控えてもらってはどうか。当然、校内視察で現場を見る時間は必要である。子どもたちが一生懸命学んでいる姿を見る時間は必要である。残った時間で経営方針のお話が出ると、意見交換をする時間がなくなるということが過去にも何度かあったので、学校の方へお知らせをしてもらえたらと思う。

小林係長

意見交換のテーマに絞ってお話をという方向で説明、お知らせをしようと思う。

石本教育長

意見交換のテーマについては、1ペーパーを作っていただきたい。経営方針、学校の概要についてではなく、意見交換のテーマについてまとめたものを準備してもらえると良い。

小林係長  
石本教育長

はい、学校に伝えます。

この前に、教育事務所長の学校訪問がある。5月15日、19日、25日が浜田市の学校を回る日になっている。各校30分ずつ、授業は見ずに、管理職との意見交換を行う。その後、教育委員会の学校訪問を行う。

他に意見は。無いようであれば、事務局の方で整理してもらうこと、この予定で実施をするということによろしいか。

全会一致で承認

### 3 部長・次長・課長等報告事項

山本部長

① 平成27年6月議会定例会日程（見込み）について（資料4）

正式には5月25日開催の議会運営委員会で決定されると資料には書いてあるが、今まで変更になった事がないので、この

予定になると思う。6月1日が開会、6月2日から5日が個人一般質問、6月8日が議案質疑、6月9日が総務文教委員会、6月15日予算決算委員会、6月19日が表決という予定になる。

- ② 平成26年度 閉校式・お別れ会等の様子について(資料5)  
教育委員の皆様には、上府小学校、国府小学校、有福小学校の閉校式にご参列いただきご存知かと思うが、報告をする。上府小学校が3月22日午後1時30分から、参加者400名。国府小学校が3月21日午前9時30分から、参加者370名。有福小学校が3月22日午前10時30分から、参加者300名ということであった。来年の今市小学校の閉校で、統合・閉校関係は終わる。去年は、和田、市木。一昨年が、後野、佐野、木田、井野、室谷。現在、小中学校を合わせて16校。9年前、17年度合併時は30校。

横田次長

- ① 平成27年度 市立幼稚園園児数一覧表について(資料6)  
資料の表上段が、新規入園児童の結果となる。27年度、合計67名となる。表下段は、在籍の方と合わせて総人数となる。合計で144名の園児数となる。

- ② 行事予定表について(資料7)  
把握できている部分を掲載した。日にち、曜日、時間、内容、会議名の表示をしている。教育委員の皆様には案内を送らせていただく行事に関しては○印を付けている。先ほどもお話があったが、今日21日は全国学力・学習状況調査が行われている。松江で、市町村教育長会議が予定されている。教育委員の皆様にお知らせが行く行事は、5月9日の石見地区中学校柔道大会、5月14日、15日の石見地区中学校ソフトテニス大会、5月21日に小体連陸上大会が行われるので、案内がお手元に届くと思う。5月末までの所で掲載をした。また予定へ入れてもらえればと思う。

佐々木課長

- ① 平成27年度 学年別児童生徒数変動集計表について(資料8)  
学校の欄を見てもらうと上が児童数、下が学級数を示している。小学校では全体が2,689名、学級数が147学級。中学校は9中学校、生徒数1,387名。合計、小中学校合わせて4,076名となる。また細かいところをご覧いただきたい。
- ② 平成26年度 学力向上総合対策事業 実績報告書について(資料9)  
この事業だが、26年度から新たに取り組みを始めた事業であ

る。元気枠という形で、普通の予算とは別枠で予算立てをされている事業である。数年は、この事業を継続していくということであるが、26年度の事業報告書として簡潔にまとめたのでご覧いただきたい。特に、今年度もそうだが、26年度に市政方針あるいは、教育方針の中で、学力向上に関して、国語力を付けてもらうということを最優先に掲げている。目次に書いてあるが、それぞれ学力向上対策事業で取り組んだメニューが記載されている。特に、国語力に関係するものとしては半分くらいあるが、まず家庭学習ノートコンテスト、調べる学習コンクール、学校図書館活用研究会、指導主事による学校図書館活用支援という形で、主に学校図書館を活用した事業を多く取り組んできた。国語力に関する事業については、力が入っており数ページにわたって報告書がまとめられている。後程ご覧いただき、ご意見等教えていただけたらと思う。

山根課長（代）木原係長

① 浜田市合併 10 周年記念ウォーキング大会の実施について（資料 10）

軽スポーツの推進事業ということで、今年度は浜田市が合併 10 周年ということもあり、ウォーキング大会を開催する。事業内容は、10 周年の冠を付けたウォーキング大会を行い、今年度は 11 回を対象として開催したい。主に、公民館が主催するウォーキング大会が主だが、順番は対象大会（表（4）参照）11 の大会を対象として 11 回のうち 7 回以上参加していただいた方には商品を贈呈するという事業を考えている。商品については『はまおく』というパンフレットの中から、5,000 円相当の商品を選んで貰い郵送することを考えている。効果としては、健康づくりや参加者相互の親睦を図る事、また、各自治区のコースをウォーキングすることによって、浜田市の魅力の再発見・再認識をしていただきたいと考えている。商品については 5,000 円程度の物を、60 名程度参加してもらえらるだろうと考えている。11 回の内訳として、浜田地区 4 回、金城地区 3 回、旭地区 1 回、弥栄 1 回、三隅 2 回の合計 11 回と考えている。

② 平成 28 年度 全国高等学校総合体育大会 体操競技について（資料 11）

来年度の 8 月、全国高等学校総合体育大会・インターハイが中国地方で行われる。体操競技が浜田市で開催されることにより、4 月から生涯学習課に準備室を設置した。

総合開会式は7月28日に岡山市で開催され、大会期日については体操競技の開会式として8月2日（火）、競技を3日から5日（金）まで、競技終了後に閉会式という予定で準備をしている。競技会場として、県立体育館（竹本正男アリーナ）、サブ会場として浜田高校体育館、練習会場としてふれあいジムかなぎ、監督会議等に関しては石見武道館で行うように考えている。資料11-3では日程について表している。練習が○、競技については◎として書いている。今後のスケジュールについて、本日、4月21日に島根県の実行委員会の設立総会が行われている。5月下旬に浜田市の実行委員会を立ち上げる予定としている。

事務局体制として、島根県教育委員会から派遣をいただいている岸先生に4月1日より勤務をしていただいている。予算が成立した後、臨時職員を2名採用する予定。

島田館長

① システム更新に伴う浜田市立図書館の臨時休館について（資料12）

図書館システムの更新作業の為に5月に休館をする。対象の図書館については浜田市内の図書館全てである。移動図書館について運行はするが、4月に貸し出している資料の返却のみ受け付ける予定。休館期間は5月11日（月）～5月31日（日）まで。従って、4月28日以降に貸し出す資料については、全て返却日が6月1日になる。4月28日以降に貸し出した資料に関しては、1カ月以上貸し出せる事になる。そのところで利用が広がると良いと思う。休止の業務については、返却はブックポスト、閲覧、相互貸借、レファレンス、複写サービス等すべての業務となっている。更新の内容は、平成21年度に構築事業（図書館の電算化）の事業を行い、翌平成22年から運用を開始しているが、25年8月に新しく中央図書館開館に伴い、自動貸出機、自動返却機、予約棚、電子図書館システム、セルフ座席予約システム、郷土資料の閲覧システム等を追加で導入し、図書館システムの再構築を行っている。サーバーについては、市の本庁舎の中にあつたものを、広島情報シンフォニーに一度預けていたが、今後は、預けたシステムをクラウドという最新の図書館のシステムをインターネットで使用するという形に変更する更新作業である。現行の図書館システムは、22年度から5年を経過した為、メインサーバーのマイクロソフト

のサポートが終了するという事、その為に更新が必要になるということである。使っていた端末の WindowsXP の業務用・利用者用端末についても、そのサポートが終了してしまう。中央図書館開館時に導入した機器の継続利用はそのまま行う。現行システムと同様の図書館システムをクラウド型に変更するという作業も同時に行う。導入に際して、自分の所で端末を導入しないクラウド方式に切り替える事によって、今後大きな休館をして5年後に対応するということが不要になる。長期の休館の時期の設定は不要になるという形にする予定としている。

② 平成 26 年度浜田市立図書館利用実績について (資料 13)

上から来館者数、利用者数、個人貸出点数、利用団体 (団体貸出をしている団体の数である。) 団体利用の貸出の冊数、予約・リクエスト受付の冊数、レファレンス (参考業務、こういう資料があるかというお問い合わせに答える業務) の受付の点数、蔵書をしている数、各館の開館日数を図書館ごとに記載をしている。

個人貸出点数については、全館で 288,799 冊となった。これは平成 26 年 3 月末、平成 25 年度末の浜田市の人口で割ると 57,700 人で割ると 5.00 冊という数字になり、25 年度が 3.6 冊という数字だったが、当面の目標である 5 冊、市民 1 人当たりが年間に借りる冊数が 5 冊の目標を初めて達成した。この数字は県内では、雲南市、出雲市、大田市に続いて 4 番目である。上の大田市は 6 冊であり、浜田市の平成 27 年度の目標は 6 冊に達したい。先ほど資料 12 でもあった休館日が 3 週間程あるので、より一層の努力が必要となってくる。

電子書籍の利用状況を載せている。貸出点数は 322 点と一昨年度より半減をしている。新しい電子書籍が導入できない事や、高齢者や障がいのある方へのアピールが不足しているのかなと感じている。各分館でもこれは勧めてほしいと言っているが、なかなか分館でも利用が増えないので、これについては挺入れを考えている。

長見所長

平成 26 年度青少年サポートセンターの利用状況について (資料 14)

1 番上の表については、相談件数。延べ件数になっているので、重複等もあるが、相談件数は 25 年度より若干増えている。

2 段目の相談対象人数というのが、見守りとか色々関わりを

もっている方の人数であるが、25年度末では194人あったが、26年度に移行する時、就労ということでもかなり落としたりしたが、またその方のうち新規が発生したり復活される方もおられて26年度末には154名となった。

その下の表は、仕事を持っていない方が、どの様な形で就労に結びついたかというところだが、内容についてはご覧いただきたい。

一番下の表が、居場所としての青少年サポートセンターを利用された方々の人数。利用人数は1116人となっているが、実質の利用者は保護者等含め62人となっている。25年度の所の応接室に人数が入っていないが、26年度は利用者の方が使用される事があったのでカウントした。

川本係長  
小田室長  
大崎分室長  
田村分室長  
森下分室長  
吉野分室長

報告事項なし。  
報告事項なし。  
報告事項なし。  
報告事項なし。  
報告事項なし。  
報告事項なし。

#### 質疑応答

石本教育長  
藤本委員

部長、次長、課長より報告事項があったが、質問等あるか。  
資料7について、今ここに○を入れていただいているが、今のところ行事はこれくらいか。

石本教育長

後程相談するが、5月12日市長が主催される総合教育会議を開催したいという話がある。ここで資料の追加をお願いしたい。  
5月12日（火）13時30分～15時30分に第1回総合教育会議を開催。会場は本庁3階の庁議室。第1回なので、総合教育会議をどのように運営していくかという基本的な事を相談する会議になるかと思う。12日の都合はいかがでしょうか。市長は、この日しか時間が取れないということだが。

各委員  
石本教育長

よい。  
5月12日（火）で市長へ報告する。基本的には市長、教育長、教育委員のみの会議だが、浜田市の場合は副市長も出席される。  
5月21日（木）小体連陸上大会だが、全国都市教育長会に出席の為、開会式の挨拶を藤本委員をお願いしたい。日程的には大丈夫だろうか。

藤本委員 石本教育長 藤本委員 石本教育長	大丈夫である。 お願いします。 了解しました。 資料 8 について。これは 3 月 31 日現在だが、5 月 1 日現在の報告の際は、前年比較を入れていただきたい。当然、児童数、生徒数は前年より減っていると思うが。 資料 9 は立派なものが出来ている。報告書は大事だなと感じる。
金本委員 石本教育長 金本委員 小林係長 石本教育長	資料 8 の浜田東中の特別支援のクラス数が入っていない。 生徒数は書いてあるが、学級数が全てに入っていないのでは。 いえ、浜田東中のみだと思う。 右端に欄がある。 資料 8 浜田東中の特別支援の学級数朱書きで修正をしていただきたい。
佐々木課長 藤本委員 木原係長 石本教育長	5 月 1 日現在の時に一緒に修正をお願いしたい。 分かりました。 資料 11 について。島根県の会場は浜田市だけか。 体操が浜田市。新体操、柔道が松江、テニスが出雲、ボートが雲南の 4 市である。島根県で 5 競技である。
木原係長 石本教育長	4 日間で男女全て出来るのかと心配したが、参加する数が少ないので可能ということである。 競技は 3 日間である。 サブ会場と練習会場の違いは。今まで聞いていたのは、県体が競技会場で、浜高と金城の体育館が練習会場と聞いていたが。サブと練習は違うのか。
木原係長 石本教育長 宇津委員 石本教育長 宇津委員	本当の競技は県体の予定である。 サブと言うのは、大会前の直前の練習をする場所か。 そうだと思う。 宇津委員は、競技役員でいつもやられているのか。 何らかの形で関わっている。県立体育館は最新の器具を入っていた。金城の体育館にもそれと同じような器具をそろえなければいけない。
石本教育長	実行委員会にはそれなりの手立てをしていただくようにしている。事務局体制の所で、県教委から岸先生が浜田高校から来ていただいている。係長は木原係長が兼務ということで、大変だと思うが頑張ってください。

資料 12、13 について、図書館の関係について質問はあるか。  
多分、議員から質問があると思うが、まだ新しいのにシステムの更新なのかという話になるかもしれないが、平成 22 年に元々市の全体のシステムを構築したものを使っていたので、丸 5 年が経ち、更新時期が来たと伝えれば良いが。これについてはよろしいか。

最後、資料 14 について、質問はあるか。

藤本委員

平均して 1 日何人位が来られるのか？多い少ないはあると思うが。

長見所長

資料 14 の表の一番下の表が平均である。

藤本委員

分かりました。

石本教育長

これは、来られる人であるか。

長見所長

そうである。相談に出掛けたり、何かを持って行ったり、様子を伺いに行ったりなどはたくさんあるので、関わっている人数はたくさんおられる。会えない方もおられる。

石本教育長

1 日平均 4.5 人の方が来られて、利用時間はどれくらいか。半日くらいか。

横田次長

2、3 時間位。人によれば 1 日おられる方や、半日単位の方が多。

長見所長

最近は 1 時間の方も多。何かに行く前に寄られたり、何処かへ行った帰りに寄られたり、ずっと関わりを持っておられる方が多。

石本教育長

保護者が連れて来られると思うが、保護者もずっと一緒におられるか。

長見所長

ない。送り迎えはされるが、上まで送る方は最初はおられるが、大体の方が一度帰られて、帰りに迎えに来られる方が多。

石本教育長

教育委員会で委員の皆さんと一緒に青少年サポートセンターへ視察に行った事ないので、一度は教育委員で行って見たらどうか。

藤本委員

個人的には 2 回位行った。

石本教育長

私も通算で 10 回程度。

藤本委員

資料 14 の表の見方について、相談対象人数の表の 20 歳未満一番上に小中学生 31 人となっているが、この相談対象というのは。

長見所長

一番上の所に、学校問題、家庭問題、対人・社会問題、というような括りでまとめてあるが、そここのところの学校問題で不登校についてだと小学校の 19 人のうち 16 人が不登校であるというこ



	<p>とになるので、19人と家庭問題の8人と、個人と非行との合計で31人になる。不登校、引きこもり、就労の所が内数を再掲しているので、合計がそういう形の見方になる。</p>
藤本委員	<p>私が気になったのは、山びこの方へ私は行くことがある。市全体の小中学校の不登校の人数は分かっていると思うが、その子どもたちがどういう動きをしているのかと聞くと、山びこの方で聞くと限られた人数であるということであった。残りの小中学生の子どもたちは青少年サポートセンターへ行っているのかと思っただら、そういう風にはならないのか。</p>
長見所長	<p>この人数の内の資料14の1番下の部分に居場所の利用状況とあるが、実質の人数が保護者含めて62人と申し上げたが、小中学生はその内14人になる。利用は14人でその半分以上の子どもさんは関わりを持って訪問したり等はあるが、居場所にまではまだ結びついていないということである。</p>
石本教育長	<p>今までの私の認識として、山びこに行けない、学校に行ける子、学校には行けないけど、山びこへは行ける、山びこにも行けない子が青少年サポートセンターが関わる子どもたちという漠然とした認識があったが、どうであるか。</p>
横田次長	<p>間違っていない。山びこよりは青少年サポートセンターが良いという方もおられるし、両方行きやすいという方もおられるし。人によって様々である。</p>
石本教育長	<p>教育委員の皆さんとまた行きたいと思う。</p>

#### 4 その他

##### (1) 各課年間スケジュールについて(資料15)

小林係長	<p>これは資料をご覧くださいだけだと思う。各課で補足説明等あれば報告していただければと思うが、基本的にはご覧いただきたい。</p>
------	--

##### (2) 浜田市総合振興計画審議会委員の選出について

小林係長	<p>委員の皆様のみ配布をしているが、市長から教育長宛ての浜田市総合振興計画審議会委員の選出についてという写しをお配りしている。裏面に、今回総合振興計画の改定の時期を迎えており、審議会で意見を伺いながら計画案を審議して行くと説明がある。委員構成の中に、関係行政機関の委員ということで、教育委員会から1名の選出をお願いしたいという依頼があった。その他</p>
------	--

の委員構成、識見者であったり、公共団体代表、その他市長が認めるもの等、公募の委員の方もおられるが、そういった方が対象となっている。その中で、教育委員から1名の推薦をお願いするとなっているので、委員の皆様方から1名を審議会委員として参加をお願いしたい。委員の任期は、平成27年4月から平成28年3月まで。年5回程度を予定しているということ。第1回の審議会は4月30日（木）午後2時からということで開催の連絡があった。委員としては22名程度。基本的には計画案を見ていただきながら意見をさせていただく事になるのではないかと思います。

石本教育長

市長から来た文章の裏面をご覧ください。資料3より教育委員という欄があり、浜田市教育委員会人数1人（女性数1）となっているが、女性の教育委員の中から選出してくださいという当初のお話があったが、まだ花田委員の所へは行ってないかもしれないが、おやこ劇場の方から出ていただきたいということがあり、その他市長が認める委員として花田委員に理事長として出てほしいと連絡があると思う。教育委員は女性に限ると言う事ではなくなった。昼前に分かったので資料は間に合わなかった。花田委員は別枠があるので、藤本委員、宇津委員、金本委員、3名の方から出ていただきたいがどうだろうか。

宇津委員

藤本委員にお願い出来ないか。

藤本委員

いつ会議が行われるか。

小林係長

4月30日に第1回。10月までのところで全5回程度行われる。

石本教育長

月に1回位か。

小林係長

月に1度もない。

藤本委員

私で良ければお受けする。

全会一致で承認

(3) その他

小林係長

委員の皆様のみ配布しているが、教育委員会の懸案事項ということで、本日定例会の前に各管理職の皆さんに集まっていただき、教育委員会の懸案事項を話し合いしている。その資料を参考までに配っている。

石本教育長

各課の懸案事項、毎年4月の段階で1年の目標を立てる意味もあって、各課の懸案事項をまとめている。それがどれくらい進捗しているかという会議は出来ていないが、今年度は山本部長が進捗会議をするので、よろしくをお願いしたい。

次回定例会日程

定例会 5月19日(火) 13時30分から 浜田公民館第3研修室

終了 15:20